

# 青木副市長、石田教育長が就任 (5月14日付)

5月2日(月)に行われた郡上市議会臨時会において、副市長に青木修氏(八幡町尾崎町)を選任、教育長には石田誠氏(八幡町市島)を任命する議案が提出され、両氏とも同意されました。



副市長  
青木 修

青木氏は、旧高鷲村立高鷲北小学校校長、美濃教育事務所長、八幡中学校長などを経て平成19年4月からは、教育長として9年余務められていました。任期は、平成32年5月13日までの4年間です。



教育長  
石田 誠

石田氏は、石徹白小学校校長、美濃教育事務所学校職員課長兼教育支援課長、白鳥中学校長、八幡中学校校長などを歴任され、本年3月に定年退職されてきました。任期は、平成31年5月13日までの3年間です。

## 職員人事異動

同じく5月14日付けで職員の人事異動が行われました。異動した職員は次のとおりです。なお、( )内は前職名です。



理事 兼 総務部長  
田中 義久

○理事(理事とは、今回新たに設けられた職で、市長の特命事項等の市政運営上、重要な事務にあたります。)  
▽理事兼総務部長(市長公室長)

田中義久



市長公室長  
三島 哲也

○部長級  
▽市長公室長(総務部長)  
三島哲也

## 特集

平成28年

# 部長に聞く今年度の方針



理事 兼 総務部長  
田中 義久

### 安心・安全な暮らしの 基盤づくりを進めます

総務部は、消防防災、防犯、交通安全、自治会窓口、また財政、管財、契約、税務の各事務、市民窓口、斎場、さらに選挙の執行管理など幅広い行政分野を担当しています。

防災面では、今年度から、現在の音声告知システムを、防災行政無線による戸別受信システムに切り替える工事に着手します。また、空き家等実態調査の結果を踏まえ、危険または衛生上問題のある空き家対策と、活用可能な空き家の有効活用の双方について空家等対策計画を策定し、総合的施策を推進します。

財政については、合併10年を経て普通交付税の段階的縮減の3年目に入ります。算定方法の改正により縮減幅は当初よりは小さくなるものの、大幅な減額が見込まれることから、今後とも経常経費等の削減を図る必要

があります。また、借入金の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表した実質公債費比率は、平成26年度決算で15%と依然高い水準にあるため、可能な限り市債活用を図りながら財政運営の健全性確保を図ります。

市税は正確な課税客体の把握に努め、公平かつ適正な課税ととも、滞納に対しては臨戸訪問により納税を促し、徴収率の向上に努めます。

市民窓口では利便性の向上と、マイナンバー制度に伴う個人番号カードの普及を促進します。また、斎場は既存施設の効率的な運営を図るとともに、(仮称)郡上市北部斎場の建設に着手し、平成29年度完成を目指します。

なお、今回兼ねて「理事」の職を拝命しましたので、その立場としても市政推進に努力します。ご指導・鞭撻の程お願いします。



議会事務局  
長岡 文男

### 議員との協働による 開かれた議会を!!

議会事務局は、市議会が十分に活動できるように本会議や委員会の運営補助、議会の政策立案・政策提言の支援、議長、副議長の秘書機能、議員活動の補佐及び執行機関との調整、議会と市民との媒介といった機能を担っております。

事務局職員は市の職員であることが多いため「過ぎた調整役」と言われる場合もありますが、議員と事務局が情報を共有し、協働関係を築き、適切かつ効果的な議会運営が行われるよう補佐し、郡上市議会基本条例の基本理念に沿った新たな取り組みが活発に行われるようサポートしてまいります。

また、市民から信頼される議会であるためには議会の「見える化」が重要であり、特に今年度からは議員の政務活動費(年額12万円)が交付されることとなり今まで以上に透明化を図る必要があると考えております。

議会事務局では、議会の市政への監視能力を高めることはもとより、議員提言など政策形成の機能の充実や、より市民に開かれた議会の実現のため職員一丸となつて取り組んでまいりますのでよろしくお願いたします。



市長公室長  
三島 哲也

### 「総合戦略」プロジェクトを推進します

市長公室は、市長直属のスタッフとして、秘書広報、企画調整、地域振興、情報通信、行政改革、人事管理等の分野を担当しています。

平成28年度は、昨年度、夢論文をはじめ多くの市民の皆さんに関わっていただき、基本構想について議会議決を経て策定した「第2次郡上市総合計画」の初年度です。「住みたいまち（安全）」「輝きたいまち（活力）」「訪ねたいまち（交流）」を将来像に、「みんなで考え、みんなで作る郡上」が基本理念です。また、10年後の平成37年の人口を37、500人に設定し、地方創生総合戦略の4つのプロジェクトを通じて、人口減少対策と成長力確保等に取り組んでいくこととしました。

当面は、地方創生関連で戦略的（通年）雇用対策、アウトドア系産業の振興やスクール設立の検討、テレワークの推進、空き家対策、交流移住の促進に力

を入れます。また、魅力ある地域づくりや公共交通の確保、東京郡上人会や関西岐阜県人連合会等との交流促進、若者の市政参画にも注力します。なお、公共施設の適正化と必要な施設の長寿命化対策へ向けた抜本的な計画策定も今年の課題です。市民の皆さんのご提案ご参加をよろしく願います。



健康福祉部長  
羽田野 博徳

### 安心して暮らせる福祉のまちづくり

郡上に住みたい、郡上で子育てしたい方を全力で応援するための支援策のひとつが保育料等無料化の拡大です。市では保護者の経済的負担を軽減するため、平成27年度からの保育料を国基準の約4割としています。また、今年度からは保育園、幼稚園を問わず低所得多子世帯の年齢制限を撤廃し、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料化します。低所得の一人親世帯については、第1子を半額、第2子以降を無料化します。また、病児病後児保育は郡上市民病院に加え、昨秋から国保白鳥病院で開設していますが、多子世帯

の利用料を全面無料化します。さらに、公共施設や民間店舗に授乳やおむつ交換スペースを備えた「赤ちゃんの駅」のモデルを市内7カ所に整備するほか、授乳等のスペースを提供いただける商工会加盟の協力店を募集します。これら子育て支援情報を発信するための専用ウェブサイトも立ち上げます。

高齢者福祉施策では、保健・医療・福祉に関連する施策を一体的に推進するための方向を示す「第二次健康福祉推進計画」の優先課題とした認知症を防止するためのサポーターを養成するとともに、認知症の方やその家族・支援者が集い交流する「良良（らら）カフェ」を定期開設します。そして、一人暮らし高齢者や介護の必要な方を事業者の協力のもとに見守る仕組みの拡充、医療や介護、福祉の関係者など多職種が連携した地域包括ケア体制を充実します。

また、経済的支援策として、賃金引き上げの恩恵が及びにくい65歳以上の方を支援するため、お一人につき3万円を給付する高齢者向け給付金を創設するとともに、障がい者や低所得世帯に対する臨時福祉給付金を継続して実施します。



農林水産部長  
下平 典良

### 世界農業遺産を活かし活カある農業・農村を

担い手の高齢化と後継者不足、国際的な流通構造の変化など農林水産業を取り巻く環境は厳しい状況下にあります。農林水産部では「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されたことを活かし、付加価値の向上やブランド力の強化などにより、活力ある農業・農村の実現に努めます。

農業分野では、農業委員会に新たに「農地利用最適化推進委員」を設置して、担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止に取り組まます。各集落での「人・農地プラン」の策定を推進するとともに、新規の就農者を支援します。また、地産地消の拠点施設である朝市・直売所への助成制度や、新規作物の発掘、育成を目的とした支援事業、女性の農業参画を促進するための育成支援など新規事業を創設して地域農業の活性化に努めます。

林業分野においては、大型製材工場の本格稼働で増加した木

材需要に対応するため、作業道の補修支援や搬出間伐等を推進します。また、市産材を使用した住宅等の新築、増改築や、木質燃料ストーブの購入を支援し、市内産材の利用拡大を図ります。さらに、森林に被害を加えるニホンジカの効果的な捕獲方法の検討や、森林技術者等の人材育成に取り組みます。

畜産振興については、県の制度事業を活用し、畜産主産地の維持・拡大を図ります。優良資質を持つ系統雌牛の保留・導入を推進するとともに、来年、宮城県で開かれる「全国和牛能力共進会」に郡上市からの本選出場を目指し、候補牛の技術・衛生管理指導を強化します。また、診療事業や人工授精事業を通じて家畜の疾病防止、生産性の向上に努めます。



商工観光部長  
福手 均

### 産業の振興と雇用の確保で郡上を元気に

商工観光部は、郡上市の産業振興の一翼を担っており、産業の振興と雇用の確保、国内外の観光客誘致と賑わいの創出に努めたいと考えています。

商工振興においては、当部に工業団地の開発や企業誘致を促進するための特命次長を新たに置いて事業を進めていきます。

また、若い人たちが働けることで担い手不足を防ぐために、高校生・大学生・専門学校生へのU・Iターンの呼びかけや市内企業のPR活動を展開するとともに、新規学卒者やU・Iターン者を雇用した企業に対する支援を拡充します。このほかに地域商業の活性化を図るため、空き店舗等を活用して起業を目指す方に対して改修費用や家賃の一部を新たに支援します。また、産業振興拠点施設の整備に向けて関係機関と連携を図りながら具体的な計画を進めます。

観光振興においては、「おどり」や「アウトドア」などの既存の観光資源に、世界農業遺産「清流長良川の鮎」や観光列車「ながら」などの魅力あふれる資源が新たに加わる中、郡上八幡駅の改修や案内人の配置、駅を拠点とする市内バスツアーの催行などに取り組みます。また、オリンピック開催年に向けて国が4千万人誘致の目標を掲げたインバウンドの取り組みも、市の特性を最大限に活かしつつ拡充を図ります。

観光施設については、的確にモニタリングを行って適正管理を行うとともに、道の駅につい

ても見直しや改善を進めます。



建設部長  
古川甲子夫

### 地域の安心・安全に 備えた基盤整備

広大な面積を有する本市において、市民生活や観光をはじめとする産業の発展を支え、災害時のライフラインとしても欠かせない道路ネットワークの一層の整備と農林・土木部門等の継続事業の整備促進を図り、新規事業も優先度等を検討する中で事業を着実に進めていきます。

一方で、道路施設(橋梁など)の老朽化が急速に進む中、ライフサイクルコストの縮減を図るため長寿命化修繕計画により橋梁の定期点検による状態を把握し、従来の事後的な修繕及び架替えから、その点検結果に基づき早期発見・早期補修の予防保全を計画的に実施してまいります。特に今年度からは林道の橋梁点検についても着手します。

主要幹線道路網の整備として東海北陸自動車道4車線化事業を引き続き進めていただいております。国・県道等についても事業促進について関係機関へ要望活動を行ってまいります。また、今

年度も、再生可能エネルギーを活用した事業として、県営事業で農業用水を利用した小水力発電施設を建設中の地区においては、早期完成に向け引き続き進めてまいります。また、郡上八幡北町の重要伝統的建造物群保存地区の電線地中化整備事業の工事に着手します。市の基盤となるまちづくりを行っていく上

においては、市の将来像を描きながら長期的な視野を持って推進していくことが重要であり、「美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち」の実現に向け着実な各事業の推進に努めてまいりますので、市民の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。



環境水道部長  
平澤克典

### 未来の視点で戦略を 描ける「人づくり」

清流長良川の里川システムが世界農業遺産に認定されました。このような素晴らしい郡上の環境が次世代に受け継がれるよう引き続き事業を推進します。環境保全対策として、旧北部清掃センターの解体に着手するとともに、廃棄物処理対策と

して、4R運動の推進、エコプラザを中心とした分別収集、「生ごみから元気な野菜づくり」に取り組みます。また、水道事業では、継続事業である水道施設統合の一日も早い完成を目指して事業を推進します。

環境水道部は市の組織の中では特殊な事業を行っている部署と言えます。市民の皆様にとつて、水道及び廃棄物処理(浄水・汚水・ゴミ処理等)事業は、蛇口から出る水道水のように、いつでもサービスが提供されて当たり前という認識があるかと思いますが、市民生活にとって最も重要な基幹インフラであり、極めて専門性の高い事業で、365日24時間職員による監視体制が必要な事業であります。人口減少社会の到来、施設の老朽化、防災対策の推進など、取り巻く環境は極めて厳しいものとなっております。今後不安定的・効率的に事業を継続していくためには、長期的視野に立った経営プランの策定が必要となつてきます。そのためには、専門的な知識を持った人材の確保が必要であり、専門的な知識や技術の継承はもとより、市民の皆様への期待と信頼に応えるため、事業環境の変化や新しい課題に的確に対応し、未来の視点で戦略を描ける「人づくり」が最も重要だと考えています。

今年度は、水道特別会計から公営企業会計への移行を本格的に行う年でもあります。このような節目の時こそすべての職員が、未来を考えて行動を共にすべきであり、郡上市環境水道部の財産となる「人財」を育成するよう努めます。



教育次長  
細川竜弥

### 「郡上人」を育てる 教育の推進

教育分野での重要課題であった、市内の全学校施設の耐震化が、平成27年度末の小川小学校の新校舎完成をもって完了しました。子どもたちが安心して学び、活動できる教育環境の整備が大きく前進しました。

さて、平成28年度学校教育分野では、引き続き、子どもたちの生きる力を高め、郡上市の未来を築いていく「郡上人」を育てる教育を推進します。確かな学力とともに「子どものための郡上学」に力を入れ、郡上の自然や伝統芸能、郷土の食文化、歴史など、体験・学習を通じたふるさと学習の充実を図ります。

また、社会教育分野では、古文書や歴史資料、文化財・重要美術工芸品等を収蔵・保存し、資料の

解説や調査研究及び一般の閲覧利用に供する(仮称)郡上市歴史資料・文化財収蔵施設の整備を進めます。この施設を拠点として、市史編纂事業を進め、資料の収集、調査を継続します。

初めての取り組みとしては、昨年の中学生ふれあい懇談会の中で提案のあった「郡上かるた探訪ラリー」の具現化、昨年実施した「中高校生鮎の友釣り大会」を若者による伝統漁法継承事業として支援します。



市民病院事務局長  
尾藤 康春

### 地域で信頼される 病院をめざします

医療サービスの充実、赤ちゃんと高齢者まで、すべての人たちが将来にわたり郡上に住み続けていただくための重要な要素であり、中山間地域にあっても都市部に引けを取らないよう医療環境の充実・強化に努めています。

地域の中核的な医療機関として、「24時間対応の救急医療」「出産から子育て支援」などの不採算部門についても、公立病院の使命として市民の皆さんに提供してまいります。このためには、不足する医師や看護師をはじめとした医療スタッフによるマン

パワーの充実が必要不可欠であります。また、病気の早期発見・早期治療を図るために、医療機器の計画的な更新も進めてまいります。

今年度は、地域医療構想に基づく新公立病院改革プランの策定や、提供する医療の質をさらに高めるために、第三者機関による病院機能評価の受審に向けて取り組んでまいります。ハード面では、快適な治療を受けていただくために専用の化学療法室の設置なども計画しております。

今後は、医療の必要な高齢者の増加が見込まれるなど、医療を取り巻く環境はますます厳しくなることが予想され、市内の医療機関・施設との連携・機能分化を進める必要があります。市民のみなさんが安心して、安全な医療サービスを受けられるよう、職員個々の能力向上を図り、地域で信頼される病院をめざして努力してまいります。



鳥白病院長  
事務局長  
藤代 求

### 連携を見つめなおし さらに一歩前進しよう

昨年4月に県北西部地域医療センター国保白鳥病院として新たにスタートして2年目を迎え

ました。平成28年度は、「今年度 連携(つながり)を見つめなおしさらに一歩前進しよう」を病院の全体目標としました。

これからの医療政策では在宅重視が示されています。それを支えるためには本人や家族だけではなく、地域住民のボランティアや行政のサポートによる「地域包括ケアシステム」の確立が必要です。医療関係者、行政、地域住民が協力して満足度の高いサービスを提供するため、職員それぞれが職場内や他組織との「つながり」について意識を持って取り組みます。

また、今年度に策定する新公立病院改革プランでは、病院の役割や機能を根本的に見直すこととなっております。主な課題は、「病床数及び病床機能の検討」「在宅医療の充実」「政策的医療への参画」「広域センター」として果たすべき役割の実践」であり、取り組みを通じて地域にとって必要不可欠な医療機関となることを目指します。



会計管理者  
松崎 乾

### 適正かつ迅速な

### 会計事務の推進

自治体の財務会計制度では、

予算を執行する会計命令機関(執行機関)と審査する会計執行機関(会計管理者)を区分し、相互に牽制作用が働くようにして、予算の適正な執行と公正な会計事務の確保を図る仕組みとなっております。会計管理者は、市長の支出命令に対して審査権が与えられており、会計事務の執行機関として独立性をもつ職です。

会計課は、行政運営を支える大切な公金をお預かりする部署として、予算の執行内容のチェックや公金の安全・確実な保管と運用、そして決算の調整などを行っています。

平成28年度当初予算では、一般会計と20の特別会計を合わせ、総額約454億円の支払いが予定されており、市民の皆様から納めていただいた大切な税金であるという緊張感を持って、正確で迅速かつ効率的な会計事務の遂行に取り組むとともに、超低金利下における積立基金の安全かつ効率的な資金運用に努めてまいりますのでよろしくお願いたします。



消防本部消防長  
川島 和美

### 「持続」

我々消防職員には「住民の生命・身体・財産を守る」という重大な責務が課せられています。消防業務を遂行するため、機械と人員を用いて対応しますが、何より大切なのは職員の消防人としての質です。この質が高ければ結果としてより良いサービスが提供できると考えております。

郡上市消防本部では、消防人としての資質の向上を目的に目標とするキーワードを掲げ、それに向けて取り組んでいます。今年度は「持続」としています。「持続」は、ある状態が途切れずに長く続いていること。また、ある状態を長く保ち続けることを意味します。

平成22年度から「気配り」「規律」「熟慮断行」「更進」「具現化」「共助共存」と毎年度目標を掲げてきました。

ある物事を長い間「持続」させるためには、たゆまない努力と強い精神力が必要となることもあり簡単なものではありませんが、持続は力となり人を成長させます。今後もこれまでに掲げた目標を持続させていきたいと思います。

